

■肢体不自由のある子どもたちへの実践事例

一人ひとりの実態に合った読書形態を提供し、 読書の楽しさを味わえるようにする

東京都立八王子東特別支援学校
山田梨紗

はじめに

本校は、小学部1年生から高等部3年生までの児童・生徒が在籍する肢体不自由特別支援学校です。平成24年度より、わいわい文庫利用研究校となり、マルチメディアDAISY図書は、貸与されたタブレット端末（iPad 1台、iPod10台）および校内のタブレット端末（iPad 9台）に導入して活用しています。

これまでの取り組み

本校では、以下の2点に取り組んでいます。

1. マルチメディアDAISY図書の校内での活用方法の検討。
2. マルチメディアDAISY図書の周知方法の検討。

その中で、マルチメディアDAISY図書が、どのような子どもたちに有効かについて、つぎの3つの分類をしてみました。

- (1) 本の導入期の子どもたち
- (2) 文章を読むことはむずかしいが、聞いて理解できる子どもたち
- (3) 一人で本を楽しむことができる子どもたち

もたち、あるいはそれを目指す子どもたちに分けてみました。（『わいわい文庫活用術④』を参照）

そして、2016年度より「子どもたち一人ひとりの実態に合った読書形態を検討し、提供していくこと」に継続して取り組んでいます。

新たな取り組み

今までは、年間を通して職員室にマルチメディアDAISY図書を保管していましたが、今年度は読書月間の期間のみ、試験的にライブラリーにコーナーを新設。物語の長さごとに色分けをしたポーチにiPodを入れ、設置しました。貸出簿に記入し、貸し出し状況を把握しました。

また、読書月間では昨年度に引き続き、本を借りるたびに掲示物にシールを貼る活動を行い、「読書の木」や「やきいも」など季節に応じた展示をしました。昨年度から継続して行ったことで、全校の子どもたちがより親しみをもち、昨年度よりも貼られるシールの枚数が増えました。シールを貼ること

を楽しみに、ライブラリーに足を運ぶと言った意見もあがり、子どもたちの読書活動に対する意欲の向上につながりました。



ライブラリーオリエンテーション

本校では、毎年年度の始めにライブラリーオリエンテーションを複数回行い、貸出方法の説明やさまざまな読書媒体の紹介をしています。その際には、マルチメディアDAISY図書の体験もあります。新入生や新教職員にマルチメディアDAISY図書を知ってもらうとともに、年に1回マルチメディアDAISY図書について考える機会となっています。



マルチメディアDAISY図書の活用事例

(1) 本の導入期の子どもたち

本にふれる経験が少ない子どもたちは、身近な人に絵本を読んでもらうことで、本のほうを見ようとしたり、一緒に声を出そうとしたり、と少しずつ本に興味をもつようになります。子どもたちは、身近な人による働きかけにより絵本に親しんでいきます。大人がいつでも付き合えるわけではありませ

ん。ですから、子どもが一人でも楽しめるマルチメディアDAISY図書は本に親しむうえで、とても有効です。

① 小学部5年生のAさん

小学部5年生のAさんは、常時医療的ケアを必要とし、自立活動を主とする教育課程に学ぶ児童です。周りの人から話しかけられると、笑顔やまばたきで返事をします。自立活動の授業で絵本の読み聞かせに取り組み、集中して話を聞いています。Aさんは排痰のために吸入が必要で、個別課題の時間等にネブライザー（喀痰のための水分吸入）をかけながら、マルチメディアDAISY図書を楽しんでいます。

初めは『はらぺこあおむし』や『おおきなかぶ』など、よく知っている話を好み、展開を期待した表情で聞いていました。特に「うんとこしょ、どっこいしょ」のかけ声のところでは、一緒に声を合わせるようにまばたきをするなど、絵本の世界を楽しんでいました。新しい話にも興味を広げ、最近は『わたしのワンピース』がお気に入りです。読みたいと伝えてくれることが増えました。また、まったく知らない話でも、題名を伝えたり1ページ目を開いて見せたりすることで、読んでみようと思意欲を見せることにつながります。今後、興味・関心を広げるとともに、生活を豊かにしていく助けとなるように

活用していきたいと思います。



② 高等部3年生のBさん

高等部3年生のBさんは、医療的なケアが必要な生徒で、昼食は経管栄養注入にて行っています。1時間近く、車いすに座った姿勢で過ごすので、この時間にiPadでマルチメディアDAISY図書を読むことを始めました。

高等部1年生の時に始め、3年生になった今もその時間を楽しんでいます。学年が上がるごとに読書だけではなく、かたわらにいる先生や友達、看護師との会話を楽しむ日もあり、疲れた日には絵本を聞きながら眠ってしまうこともあります。

今年度から始まったお昼の放送が聞こえてくると、「お昼の放送を聞こうかな…」というように教員のほうを見て伝え、図書を一時停止することもあります。こうして、読む時・読まない時を選び、自分のペースで読書を楽しむようになりました。

また、Bさんは読み手の声の強弱や

変化によく気づいており、オノマトペや繰り返しの言葉、また緊張する場面や驚く場面などで、面白そうに笑います。

最近では『じごくのそうべい』の主人公が、「おとととと。あーっ。」と地獄に落ちる場面で、食い入るように本に見入っています。



(2) 文章を読むことはむずかしいが、 聞いて理解できる子どもたち

一部文字が読めるなど文字の世界に入りつつある子ども、読むことはむずかしくても、聞いて理解できる子どもたちにとって、かたわらで本を読んでもくれるマルチメディアDAISY図書は非常に効果的です。

③ 小学部6年生のCさん

小学部6年生のCさんは、医療的な

ケアが必要な子どもで、昼食時の経管栄養注入中にマルチメディアDAISY図書を今年度から読み始めました。すでにタブレット端末の動画やアプリに親しんでいたのも、初めてマルチメディアDAISY図書を見た時もすぐに読み上げの声に聴き入ったり、手に取ったりする様子が見られました。マルチメディアDAISY図書を使ったことで、三つの成果が得られました。

一つ目は、楽しさを共有する喜びを得られたことです。iPodが物語を読み上げると、「今の見た？」と言っているように、嬉しそうに教職員のほうを見るなど、自分の気持ちを伝えてくれるようになりました。

二つ目は、本に対する興味の幅が広がったことです。マルチメディアDAISY図書には、昔話から写真を用いてさまざまなものを解説する本など幅広く収録されているため、今までは読まなかった本にも挑戦するようになりました。

三つ目は、日常的に眼鏡をかける練習をしているのですが、勉強の時間以外にも眼鏡をかけられるようになったことです。好きな物語をしっかりと見るために、意欲的に眼鏡をかけるようになりました。

マルチメディアDAISY図書を用いた読書は、コミュニケーション力の向上や新たな習慣を身につけるきっかけと

なりました。



④ 中学部2年生のDさん

中学部2年生のDさんは、タブレット端末のマルチメディアDAISY図書を、数年前から継続して使用しています。文章をすべて読めなくても聞いて理解できることが意欲を高め、文字のハイライト機能が文字の理解につながっていると考えています。

いろいろな本を読んでいます。『パンがパン』がお気に入り。で、「何だろう?」「やっぱりね」というように、ストーリーに沿って表情を変えながら聞き入っています。話すことがむずかしいDさんに、聞き終わったあとにどんな内容だったか尋ねてみると、二者択一の選択でしっかり答えることができ、理解しながら楽しんでいることが伝わってきます。読むための操作でタブレット端末のタップやスワイプ操作などを習得でき、今年になってか

らはアプリを自分で開き、気に入った話を選択できるようになりました。マルチメディアDAISY図書を通して、今後もさまざまな力を発揮していったほしいと考えています。



③ 一人で本を楽しむことができる子ども、それを目指す子ども

⑤ 小学部4年生のEさん

小学部訪問学級4年生のEさんは、週に3回の授業（自宅や病院で実施）に意欲的に取り組み、歌やお話が大好きな女の子です。ふだんからお母さんやボランティアさんに絵本を読んでもらい、1年で本を100冊読むことを目標に、読書に親しんでいます。

マルチメディアDAISY図書を、学校の読書月間や余暇活動の一環として活用し、好きな物語を楽しんでいます。マルチメディアDAISY図書は、読んでいる箇所には色がつくので、視覚からことば

を学ぶことができ、よく集中して聞いています。登場人物の台詞なども抜き出して表示されるのでわかりやすいようです。気になる場面などがあると、目配せや口唇音で教えてくれ、周りの人と一緒にお話の世界を楽しんでいます。また、マルチメディアDAISY図書を使っていると、病院の医師や看護師なども声をかけてくれるので、話題が生まれ、コミュニケーションをとるきっかけとなっています。

入院中の一人で過ごす時間には、おもにDVDを鑑賞していましたが、読書の好きなEさんにとって、マルチメディアDAISY図書は余暇を豊かに過ごす1つのアイテムとして、今後も役立っていきそうです。



まとめ

ここまで、本校におけるマルチメディアDAISY図書の活用について記してきました。「子どもたち一人ひとりの実態に合った読書の形態を提供することで、読書習慣の形成を図り、さらにはさまざまな成果につながる」ことがわかりました。今後も、読書の楽しさを味わえるよう、読書環境を整えていきます。